

編集後記

こ数年、リモート会議を含め予定通りに集まりが開けているのは嬉しい限りです。さらには研究発表の機会をもっと増やしてはどうか、という声まで寄せられ、例年の二月に加えて、今年は八月にも開催してみました。三名の発表でゆったりと時間が取れ、終わった後お互いの近況を報告しあって、細やかな交流ができたのはよかったです。今後も年二回を続けられればいいなと思います。

また、研究発表以外にも、気軽にギリシャの情報が交換できる《フォーラム》（ギリシャなら《アゴラ》か《プラティア》でしょうか）のような場があれば、というアイデアが出されたので、冬の発表会に組み込んでみようかと思っています。例えば、こんなテーマをみんなで話し合ってみたい、この人に話を伺いたい、この単語の意味がよくわからない、ギリシャ料理のコツ伝授、HPの紹介など、形式はとにかく自由です。発表募集の際に企画テーマを募集しますので、ご意見ご要望お寄せいただければ、運営委員会で段取りを考える予定です。

会の更なる活性化、活発化のためにご協力お願いします。（橘）

りかえし呼びかけられた covid-19 の感染拡大を防止するための「外出自粛」で、自宅にいながらにして「リモート」で参加できる娯楽がインターネットを賑わしています。これまでは首都圏にある書店の店頭でのみ開かれていた出版記念のイベントに地方の読者がオンラインで気軽に立ち寄ることができるようになりました。最新の海外文学をその作品の翻訳者や研究者が読み解いてくれる企画は、作家と読者をつなぐ新たな試みだといえるでしょう。

おかげさまで毎年、発行されてきたプロピレアですが、在庫がかなりあります。その保管の期間と冊数に制約があるため、順次、これらは処分される運命にあります。過去にプロピレアに掲載された論文やエッセイ、翻訳などインターネットでも閲覧できますが、ギリシャに興味がある方に直接、届けられるのが印刷物のいいところかと思えます。

プロピレアの読者が増えるよう、また継続してプロピレアが発行できるよう、当会の「宣伝」のためにバックナンバーを配布していただける方は、ぜひ編集部までご連絡くださいませ。（佐藤）